

2025 年 8 月 1 日

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社

一般財団法人エンジニアリング協会
「エンジニアリング功労者賞」受賞について

日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：鈴木隆、本社：東京都品川区）は、一般財団法人エンジニアリング協会より 2025 年度「エンジニアリング功労者賞」を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

「エンジニアリング功労者賞」はエンジニアリング産業に関与し、その活動を通じエンジニアリング産業の発展に著しく貢献したグループ（チーム）または個人が表彰されるものです。

今回、「CO₂ 受入・貯蔵設備プロジェクトチーム」が「エンジニアリング功労者賞」を受賞いたしました。

受賞案件の概要は、以下の通りです。

【第 45 回】「エンジニアリング功労者賞」グループ表彰（エンジニアリング振興）

受賞者：CO₂ 受入・貯蔵設備プロジェクトチーム

概 要： 本プロジェクトは、日本 CCS 調査株式会社（代表取締役社長：中島俊朗、本社：東京都千代田区）より受注しました国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「CCUS 研究開発・実証関連事業／苫小牧における CCUS 大規模実証試験／CO₂ 輸送に関する実証試験／CO₂船舶輸送に関する技術開発および実証試験」（NEDO 事業）において実施する CO₂ 船舶輸送実証試験のうち、液化 CO₂(LCO₂)実証試験船により輸送された LCO₂ を受入・貯蔵・出荷する設備を陸上に建設したものです。

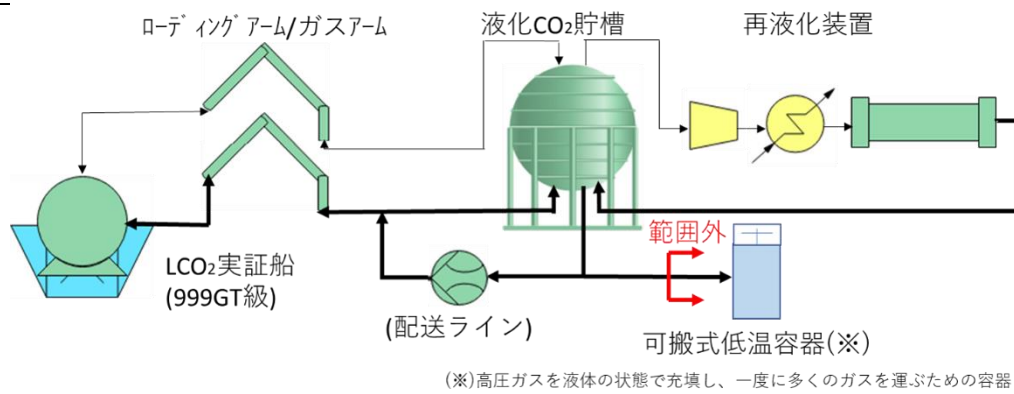
液化 CO₂ をドライアイス化(固体化)し易い温度・圧力の近傍(三重点)で運用することから、ドライアイス発生による配管内の閉塞などのトラブルを避けるための技術的な課題を克服し、世界初の低温・低圧仕様の液化 CO₂ 受入・出荷基地を完成させ、液化 CO₂ 船との受入・出荷運転での安定した操業を確認しました。

本設備の設計検討、建設工事及び運転結果は、先進的 CCS 事業^{※1}にも活用が期待されています。

当社は、先進的 CCS 事業の先にある 2050 年までのゼロエミッション達成に向けて、これまでに積み上げてきた多種多様な流体に関する知見を活かし、CO₂ バリューチェーンの構築に貢献してまいります。

※1 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)による CCS*事業の普及と拡大に向けた支援を目的とした事業
*CCS：Carbon dioxide Capture and Storage（二酸化炭素回収・貯留）

設備概要図



液化CO₂貯槽※²

※² NEDO事業、CO₂輸送に関する実証試験



ローディングアーム※²



【受賞者】日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社

【お問い合わせ】総務部 総務室 [お問い合わせフォーム\(総合\)](#)